

こんにちは 日本共産党県議団です

9月県議会に向け知事申し入れ

すべての生活保護受給世帯にエアコン補助を

日本共産党長野県議団は9月16日、9月議会に向けて知事に生活保護受給世帯のエアコン購入費補助、県内畜産業に欠かさない食肉処理施設の維持などを申し入れました。

申し入れは▽フードバンク団体への米支給で、NPO等民間支援団体にも支援▽生活保護受給世帯でエアコン設置支援対象外の方への早急な支援▽私立の大学、高等教育機関への支援と国の修学支援制度変更にともない影響を受ける学生への対応▽米価高騰対策強化▽食肉処理施設の維持へ関係者と連携した早急な対応▽米軍オスプレイ松本空港着陸問題▽市町村と連携した戦争遺跡の保存▽気候危機対策へ積極的な発信—など10項目です。

党県議は、生活保護受給世帯のエアコン設置について当事者の声を紹介し「市町村と連携し県が援助を」と求めました。知

事は、「実情を把握し有効な方法を研究したい」と応じました。

食肉処理施設の維持については「畜産が前向きとなるよう県としてしっかり応えていきたい」と答えました。



総務企画警察委員会

毛利栄子議員

警察委員会で、諏訪湖スマートインター開通に伴うアクセス道路の安全対策の現状と改善について質問。7月27日開通以来9月末までに事故は3件。信号機のない岡谷市道との交差点には一時停止の表示や

カラー舗装、アドバイスマラーの設置を行い、7時から9時は右左折禁止にし注意喚起を行っているとのこと。市道側は防音壁で見通しが悪く、降りてくる車のスピードが速いため危険。現場は湊小、南部中の通学路にもなっているため冬場の凍結防止策と合わせ県道の信号を歩車分離式にするなど地元の意見を聞きながらさらなる安全対策を求めました。



農政林務委員会

和田明子議員

林務委員会で、8月に上伊那の方から「松枯れ対策をしたのに予算が足りない、補助金がない」と相談があり、上伊那森林組合に伺い実情をお聞きしたことも併せて、森林整備について質問。

県として、南信方面などで松くい虫被害が広がり対策を講じる補正予算が提案されました。補正の主な内容は、一信州アカマツの恵み循環事業— 予算額4億7600万円 アカマツを持続的に活用できる仕組みを構築する。松くい虫被害対策を推進する。資源としての高付加価値化に取り組むというものです。



県民文化健康福祉委員会

両角友成議員

健康福祉委員会で、地域医療を担う医師の確保を目指す知事の会が、医師不足や地域間偏在の根本的な解消に向けた実効性のある施策を求める、提言を出しています。「地域の医療を安定的に確保すると共に、新興感染症等の発生時にも医療現場の崩壊を招くことなく、適切な医療を提供するには、医師の絶対数を増やすことが必要」など具体的な施策を提言されているが、医師不足に対する見解を

質しました。日本全国でトータルの医師数を考えた時、偏在を是正してもらう、中山間地に医師が根付くような施策が必要との答弁でした。



環境文教委員会

山口典久議員

文教委員会では、部活動地域展開について、文化系の吹奏楽などで練習会場が遠くなる、これまで学校が貸与していた高額な楽器の購入などの問題を取り上げました。教育委員会から課題の情報交換会などを行っているが、課題が解決されない中で子どもたちは活動しており、早急な対応を求めました。

環境委員会ではゼロカーボンについて、気候危機の深刻な影響があらわれるなかで自分も何かしたいという思いにこたえる、わかりやすく具体的な発信を求めました。



産業観光企業委員会

藤岡義英議員

産業労働委員会で、賃上げと生産性向上の2つを条件にして助成される「賃上げ環境整備支援事業」について質問。同時に条件を満たすためには、相当の利益を出さないといけなくなるとの現場の声を紹介。2011年から導入された業務改善助成金も、2013年から導入されている賃上げ減税も使いづらく赤字企業は恩恵がなく、結局多額の税金が投入されても実質賃金はマイナスのままではないかと質問しました。

国に倣うのではなく、賃上げに直接支援するような、県独自の支援策を検討すべきだと制度の実施を迫りました。



日本共産党県議会報告

No10 2025年11月 【2025年9月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行／日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

